

# 直方の歴史と文化

長崎街道 その三  
直方西構え口跡

文 榊 正 澄

第 50 回

古町商店街のアーケードの南端、西日本シティ銀行直方古町支店跡北側の小路に、直方ロータリークラブが平成16年(2004年)に設置して直方市に寄贈した説明板があります。

## 説明板の文言

『(こ)は古町南端にあった「構え口」の跡である。』

江戸時代、筑前の宿場には「構え口」という構造物があった。これは瓦葺の築地塀を道の左右から突出させたもので、宿場の出入口を明確にするためと思われる。

明治以降の道路拡張などで現存する構え口は少なく、わずかに長崎街道の山家宿・木屋瀬宿、唐津街道では青柳宿にその一部が残っている。

長崎街道が通過した江戸時代後期の直方の町にも構え口があったことは、「筑前名所図会」によって知られる。

道をはさむ築地塀が古町の南端と植木口(須崎町入口付近)に描かれており、当時の直方町が長崎街道の宿場町であったことがわかる。

跡地に隣接する西日本銀行直方支店は、大正8年(1919年)ころ建設された報徳銀行直方支店の跡地である。昭和26年(1951年)に現在の西日本銀行の前身である西日本無尽がここに移転し、今日に至っている。周辺には大正期に建設された銀行が集中し、この時期、金融・商業の中心であった。』

## 説明板の補足資料

絵図：西日本銀行直方支店

(旧店舗正面図)

古絵図：筑前名所図会

古地図：直方惣郭図



直方西構え口～右下に見える(筑前名所図会 多賀神社)

## 宿場町としての直方

直方の町は「筑前六宿」には含まれていないため、参勤交代の大名行列が宿泊する本陣など公式の施設はありませんでした。しかしながら構え口が町の両端にあったことから、実質的には宿場町であったと考えられています。

## 銀行跡地の歴史

報徳銀行(本社・東京)は明治31年に創立された庶民対象の貯蓄銀行で、大正13年に合併により東明銀行となりましたが昭和初期に破綻し、その後所有者が替わり続けました。

西日本無尽↓西日本相互銀行↓西日本銀行と名称変更が続き、平成5年に旧店舗は解体されました。

平成16年に福岡シティ銀行と合併して西日本シティ銀行直方古町支店になりましたが、2年後に駅前の直方支店への統合により閉鎖されました。



旧報徳銀行直方支店(平成5年解体)

## 文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係

(TEL 25-12326)

## 人の動き

■人口 56,645人(-343) ■世帯数 27,112世帯(+113)  
〔うち外国人555人〕  
男 26,731人(-133) 全て平成31年3月末現在  
女 29,914人(-210) ( )は前年同月との比較



- ◆発行…直方市  
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号  
URL <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
- ◆発行日…毎月1日(月1回)
- ◆編集…企画経営課ふるさと情報係  
TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812  
E-MAIL [n-koho@city.nogata.fukuoka.jp](mailto:n-koho@city.nogata.fukuoka.jp)
- ◆印刷・制作…久野印刷株式会社

## 編集後記

ずいぶん暖かくなり、外出が楽しくなる季節がやってきました。行楽シーズンの到来とともに、直方中央公園がついに開園。子どもも大人も、遠出が億劫な人も、ぜひ足を運んでみてください。(N)

## 携帯電話向け情報提供サービス



直方市ホームページ  
市の情報がもりだくさん



情報メール「つながるのおがた」  
緊急情報、イベント情報など



直方市インスタグラム  
さあ、あなたもフォロー!



直方市バーチャルミュージアム  
直方の文化を隔々まで